ASICS.COM

アシックスとヴィッセル神戸、サッカー選手のパフォーマンス向上に向けた共同研究を開始

U-21 ヴィッセル神戸の選手を対象に動作計測・解析を実施し、製品開発やコーチング、トレーニングに活用できる知見の獲得をめざす



株式会社アシックスと楽天ヴィッセル株式会社（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：千布勇気、以下「ヴィッセル神戸」）は、このたび、サッカー選手のパフォーマンス向上を目的とした共同研究を開始しました。

サッカーは、加速や減速、方向転換が高頻度かつ不規則に繰り返される競技であり、こうした動作はプレーの遂行に関わる重要な要素です。アシックスはスポーツ工学研究所において、選手一人ひとりの動作を計測・解析する研究に取り組んでいます。こうした研究を競技力の向上につなげていくうえでは、競技現場においてどのような動作が重視されているかという視点が重要になります。

今回の共同研究では、ヴィッセル神戸がつちかってきた選手の育成やパフォーマンスに関する知見と、アシックスのスポーツ工学の知見および計測・解析技術を融合させ、競技で重要となる動作や、選手の成長をとらえるうえで着目すべき動作についての研究を進めます。

asics
sound mind, sound body

アシックスとは、ラテン語の「Anima Sana In Corpore Sano（健全な身体に健全な精神があれかし）」という言葉に由来し、現在に至るまで創業哲学として受け継がれています。1949 年に鬼塚喜八郎によって設立されたアシックスは現在ランニングシューズをはじめ、様々な競技用シューズやスポーツウェア、アクセサリーなどのデザイン、開発および製造を行うリーディングカンパニーとなっています。詳しくはwww.asics.comをご覧ください。

アシックスシューズのストライプデザインは株式会社アシックスの登録商標です。

まずは、アシックススポーツ工学研究所で「U-21 ヴィッセル神戸」の選手を対象とした計測を開始しました。今後、継続的な計測を通じて選手の変化をとらえ、単発の計測では得られない知見を蓄積していきます。また、本研究で得られた知見を、サッカー用スパイクシューズをはじめとする製品開発にも活用していく予定です。

〇株式会社アシックス　スポーツ工学研究所長　竹村周平のコメント

今回の共同研究は、ヴィッセル神戸がもつ競技現場での知見と、アシックスのスポーツ工学研究や計測・解析技術を融合できる貴重な機会だと考えています。特に、U-21世代の選手を継続的に計測・解析できることは大きな価値があり、サッカー選手のパフォーマンス向上につながる新たな知見の獲得が期待できます。本研究を通じて得られた成果を製品開発やスポーツ現場へ還元し、アスリートのさらなる可能性の追求に貢献していきます。

〇楽天ヴィッセル神戸株式会社　代表取締役社長　千布勇気のコメント

このたび、日本が世界に誇るスポーツブランドであるアシックス様と、選手のパフォーマンス向上に向けた共同研究を開始できることを大変うれしく思います。
長年つちかわれたアシックス様の卓越したスポーツ工学と、我々が現場で積み上げた知見を融合させることで、次世代を担う選手たちに対し、より精緻で一人ひとりに寄り添った成長の指針を提供できると確信しております。この取り組みを未来の財産とし、ここ神戸から世界で活躍する選手を輩出できる強固な育成モデルを構築してまいります。

〇アシックススポーツ工学研究所について

アシックススポーツ工学研究所は、「Human Centric Science」にこだわり、人間の運動動作に着目・分析し、独自に開発した素材や構造設計技術を用いることによって、スポーツを通じた人々の可能性を最大限に引き出すイノベーティブな技術、製品の研究に取り組んでいます。

アシックスとは、ラテン語の「Anima Sana In Corpore Sano（健全な身体に健全な精神があれかし）」という言葉に由来し、現在に至るまで創業哲学として受け継がれています。1949 年に鬼塚喜八郎によって設立されたアシックスは現在ランニングシューズをはじめ、様々な競技用シューズやスポーツウェア、アクセサリーなどのデザイン、開発および製造を行うリーディングカンパニーとなっています。詳しくはwww.asics.comをご覧ください。

アシックスシューズのストライプデザインは株式会社アシックスの登録商標です。